

医療事故・紛争対応研究会誌 投稿規程

1. 投稿資格

原則として、第一著者が、本会会員であること。

2. 投稿方法および投稿先

電子メールで、下記に投稿して下さい。投稿の際には、電子メールの件名に、「投稿（執筆者氏名）」と記入して下さい。

infosmcm-group@umin.ac.jp

3. 原稿の表紙

投稿の際には、原稿の1頁目に、以下の事項を記入して下さい。

- ①投稿原稿の種類（下記4の①から⑤）
- ②原稿のタイトル
- ③原稿のキーワード（5つ）
- ④著者の氏名、所属施設、住所
- ⑤連絡先（E-mail アドレス、電話番号、FAX 番号）

4. 原稿の内容・種別・文字数

医療安全管理、臨床倫理、医療政策等に関する原稿を受け付けます。

原稿の種別等は以下のとおりとします。査読の結果、応募した種別とは異なる種別で採用することがあります。

- ①論壇（政策、動向等に関する提言など）
 - ・図表を含め 4000 字以内（文献は除く）
- ②実践報告（実際に取り組んだ活動の報告）
 - ・図表を含め 4000 字以内（文献は除く）
 - ・冒頭に 200 字以内の要旨を添付のこと
- ③調査報告・事例報告（判例紹介等も含む）
 - ・図表を含め 4000 字以内（文献は除く）
 - ・冒頭に 200 字以内の要旨を添付のこと
- ④総説（研究論文等の総括および解説）

・図表も含め 8000 字以内（文献は除く）

・冒頭に 400 字以内の要旨を添付のこと

⑤原著（独創的な研究論文）

・図表を含め 8000 字以内（文献は除く）

・冒頭に 400 字以内の要旨を添付のこと

*①から③における文献の記載は 20 件以内とします。

5. 投稿原稿の採否審査

①投稿原稿の採否は、査読の上、決定します。

②査読の際、投稿原稿について修正を求めることがあります。修正を求められた原稿は指定期間内に修正をして下さい。修正期限内に送付がなされない場合、新規の投稿として取り扱います。

6. 著者校正

原稿の掲載が決定した場合、編集ずみの原稿を、著者校正のため、連絡先の電子メールに送付します。なお、この時点での修正は、誤記等の簡単な修正にとどめて下さい。それ以外の加筆がなされているとみなされた場合には、掲載採用を取り消すことがあります。

7. 執筆要綱

①言語

原稿は日本語もしくは英語で記載して下さい。わかりにくい表現や誤字が多い場合など、投稿論文にふさわしくないとと思われる場合には、査読を行わずに原稿を返却することがあります。

②形式

A4 版の用紙に、横書きで印字してください。

③用語等の記載

特定分野で用いられている用語、単位、符号等を使用する場合には、その際に限って、注を設けて簡単な説明をして下さい。

外来語を使用する場合には、原則として片かな

で記載して下さい。ただし、一般的でない人名や地名については原綴を用いて下さい。

④図、表

図、表を用いる場合には、番号とタイトルを付けて下さい（図 1、表 1 など）。また、図・表ごとに番号順に本文の末尾に掲載して下さい。

⑤倫理的配慮

倫理的配慮が必要な場合は、関連する法令や政府指針に従って対応して下さい。その際、倫理的配慮をどのように行ったかを本文中に記載して下さい。

⑦引用文献の記載方法

文献を引用する場合には、本文の引用箇所の右肩に、1) など、番号を記入し、最後の頁に、一括して文献のタイトル等を記載して下さい（引用番号順）。

雑誌名は原則として省略しないで下さい。ただし、その雑誌が使用している略号がある場合は使用することができます。

* 文献の記載の方法は下記の例に従って下さい。

・雑誌の場合

著者名. 論文題名. 雑誌名 巻（号）. 頁－頁
発行年

- 1) 甲山太郎, 乙川花子, 丙野一郎. 医療安全教育とその効果に関する研究. 医療安全研究 10 (3) .100－110. 2018
- 2) Kouyama T., Otsukawa H., Heino I.. The study of Patient safety education. MedSafe Journal 10 (3) .100-110. 2018.

・単行本の場合

著者名. 題名. 編集者. 書名. 頁・頁. 出版社. 発行年

- 3) 乙川花子. 診療記録の開示. 甲山太郎. インフォームド・コンセント. 200-215. 医学安全社. 2018.

- 4) Otsukawa H. The disclose of medical record. Kouyama T.. Informed Consent. 200-215. Igakuanzensha. 2018.

* 投稿中の原稿や一般に入手困難な報告書は引用文献として用いないようにして下さい。原則として、インターネット上の記事も引用文献にしないようにして下さい。